

令和元年度城端・氷見線活性化推進協議会 総会 議事要旨

日 時：令和元年7月5日（金）16:00～17:00

場 所：高岡市役所 8階 802会議室

委 員：別紙委員名簿のとおり

議事要旨：以下のとおり

【議案第1号について】

事務局説明：「平成30年度事業報告及び収支決算報告」

監査報告

→承認

【議案第2号について】

事務局説明：「令和元年度事業計画案及び収支予算案」

→承認

【その他報告事項】

事務局説明：（資料1）平成30年度城端線・氷見線利用実態調査報告

（資料2）平成30年度城端線・氷見線直通化検討調査報告

（資料3）城端線・氷見線沿線地域公共交通網形成計画進捗報告

【ご意見等】

○富山大学中川副学長

- ・利用実態調査結果については、利用者数は前年比4%増と微増としているが、昨今の公共交通の取り巻く状況からすると、評価すべき結果である。城端線増便試行など官民挙げての取り組みの成果であると受け止めている。
- ・直通化検証結果については、平成28年度の調査では4～8往復の直通可能としていたが、ダイヤを調整すれば、朝のラッシュ時以外は直通可能である。費用便益分析ではダイヤ改善により、便益が1以上としているが、1以上の効果がある。
- ・また、直通化の検討にあたっては3項目を提案した。1つは、新高岡駅の複線化、2つ目は、京都丹後鉄道の西舞鶴駅でも行っている駅のフラット化により、高齢者施策としても活用している。3つ目は車両性能の向上により、運営の効率化が期待できる。
- ・いずれにしても、城端線、氷見線は公共交通における有効な路線と考えている。

○北陸信越運輸局富山運輸支局 広瀬支局長

- ・城端線、氷見線は、観光資源が豊富な路線である。形成計画では、住民の足の確保を目指しているが、県西部地域の観光資源を活用し、観光面にも力をいれていきたい。

○西日本旅客鉄道株式会社金沢支社 前田支社長

- ・利用者数から見ると、取り組みの成果が出ているが、JRとしては人口減少社会の中、楽観視していない。沿線地域へのアンケート調査では、利用満足度について5割程が「分からない」という回答があった。線区を持続可能なものとしていくためには関係者だけではなく、利用されていない市

民も交え向き合っていく必要がある。

- ・観光面では、新高岡駅は飛越能の玄関口でもあり、今年は秋以降、新幹線開業5周年記念キャンペーンを予定しており、将来にわたり定着していきたい。
- ・直通化では具体的な協議として、新高岡駅、高岡駅との接続など何ができるのかを検討すべきであり、今後も様々な角度から検討が必要である。JRも知恵を出していきたい。

○あいの風とやま鉄道株式会社 日吉社長

- ・利用実態調査では、沿線地域からは乗り継ぎ改善の要望が多かったが、今年もダイヤ改善に努めたところ。今後もJRと調整しながら、出来る限り改善に努めていきたい。
- ・直通化の検証結果では、前提条件に交通事業者の意見が反映していないと明記しているが、実際に進める場合には、関係者との調整が必要であり、今後も協議が必要である。

○富山県観光・交通振興局 猪俣局長

- ・今後も引き続き、マイレール意識を持ち、利用促進に努めていきたい。
- ・直通化の検証結果では、交通事業者の意見が反映していないことから、より現実味に向けた検討が必要であると考ええる。

○南砺市地域づくり協議会連合会 松本会長

- ・H30より呉西地区交通まちづくり市民会議を設立し、富山大学と連携しながら車に頼らないまちづくりについて、公開講座を開催した。本協議会から支援をもらっており、その成果報告をした。今年も4回以上の公開講座を目標に取り組んでいきたい。

○氷見市観光協会 松原代表理事会長

- ・里海、里山の魅力向上のため、氷見線・城端線の活性化を推進していきたい。各市長の意見を伺いたい。（時間超過のため南砺市長、南砺市観光協会会長、氷見市長のみの発言）

○南砺市 田中市長

- ・南砺市では、城端駅のターミナル化に向け、バスとの接続などに努めているところ。来年は庁舎が統一されるので、通勤における公共交通利用も視野に入れていきたい。

○南砺市観光協会 川合会長

- ・城端駅の観光案内所では、台湾などインバウンド対策に取り組んでいる。最近、観光列車「べるもんた」とバスをセットにした旅行商品も造成されており、今後は外国人観光客の満足度を上げるための調査が必要であると考ええる。

○氷見市 林市長

- ・氷見市では、氷見線の活性化を目的に夜まちなかグルメといったイベント事業を実施している。また、各駅と市内をつなぐ（例：氷見駅-番屋街間を運行するハットリ君バス）フィーダー系の交通網を形成していきたい。現在、富山大学を連携して研究している。

以上

城端・氷見線活性化推進協議会 委員名簿【出席者】

令和元年 7 月 5 日

所 属	役 職	氏 名	代理
高岡市長	会長	高橋 正樹	
氷見市長	副会長	林 正之	
砺波市長	副会長	夏野 修	
南砺市長	副会長	田中 幹夫	
南砺市副市長	監事	齊藤 宗人	
国土交通省北陸信越運輸局富山運輸支局長		広瀬 道弘	
国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所長		福濱 方哉	
富山県観光・交通振興局長		猪俣 明彦	
富山県土木部長		水口 功	土木部 次長 太田 浩男
高岡警察署交通課長		本多 善志	
氷見警察署交通課長		豊川 武俊	
砺波警察署交通課長		横山 武彦	
南砺警察署交通課長		朝日奈 孝志	
射水警察署交通課長		多田 幸護	
西日本旅客鉄道株式会社金沢支社長		前田 洋明	
あいの風とやま鉄道株式会社代表取締役社長		日吉 敏幸	
万葉線株式会社代表取締役社長		中村 正治	代表取締役専務 水上 哲
加越能バス株式会社取締役社長		稲田 祐治	自動車部長 高松 宏至
西日本ジェイアールバス株式会社代表取締役社長		野中 雅志	金沢営業所長 丸岡 範生
高岡商工会議所会頭		川村 人志	産業振興部長 大井 治幸
氷見商工会議所会頭		寺下 利宏	専務理事 京田 賢
砺波商工会議所会頭		北村 憲三	専務理事 金平 正
高岡市商工会会長		上田 久之	
南砺市商工会会長		川合 声一	
公益社団法人 高岡市観光協会会長		川村 人志	主幹 北本 亮一
一般社団法人 氷見市観光協会代表理事会長		松原 勝久	
一般社団法人 砺波市観光協会会長		五島 辰夫	専務理事 八田 俊伸
一般社団法人 南砺市観光協会会長		川合 声一	
高岡市連合自治会会長		杉江 幸男	
氷見市自治振興委員連合会会長		猶明 孝信	副会長 根山 仁志
砺波市地区自治振興会協議会会長		井上 五三男	
南砺市地域づくり協議会連合会会長		松本 久介	
JR 越中中川駅利用促進協議会会長		宇於崎 徹	
JR 戸出駅利用促進協議会会長		澤田 誠一郎	

※網掛けは欠席